平成 30 年 11 月 14 日

各 位

東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 15 号
株 式 会 社 オ ウ ケ イ ウ ェ イ ヴ
代 表 取 締 役 社 長　松田　元
(コード番号：3808 名証セントレックス)
問い合わせ先 取締役経営管理本部長 野 崎 正 徳
電話番号　０３－５７９３－１１９５

平成 31 年６月期（第 20 期）第１四半期連結業績ハイライト

～　ブロックチェーン関連の各事業が収益を拡大し、前年同期比から大幅な増収増益　～

単位：百万円

連結 損益計算書	前期1Q	当期1Q	増減額
売上高	557	**1,039**	482
売上原価	288	**372**	83
売上総利益	268	**667**	398
販売費及び一般管理費	234	**442**	207
営業利益	33	**224**	190
経常利益	24	**226**	201
親会社株主に帰属する四半期純利益	18	**178**	160

単位：百万円

連結 貸借対照表	前期末	当期1Q	増減額
資産の部			
流動資産	2,498	**4,017**	1,518
固定資産	723	**1,153**	430
有形固定資産	116	**157**	40
無形固定資産	157	**470**	312
投資その他の資産	449	**526**	76
資産合計	3,221	**5,171**	1,949
負債の部			
流動負債	540	**2,357**	1,817
固定負債	80	**75**	△ 4
特別法上の準備金	－	**13**	13
負債合計	620	**2,446**	1,826
純資産の部			
株主資本	2,603	**2,720**	117
資本金	996	**998**	2
資本剰余金	974	**398**	△ 575
利益剰余金	633	**1,323**	690
為替換算調整勘定	△ 17	**△ 8**	8
有価証券評価差額金	△ 0	**△ 5**	△ 4
新株予約権	4	**3**	△ 0
非支配株主持分	11	**13**	2
純資産合計	2,601	**2,724**	123
負債純資産合計	3,221	**5,171**	1,949

売上高

コンシューマー・サービス事業においてはブロックチェーン導入・運用コンサルテーションならびにマーケティングサポートが堅調であったこと、エンタープライズ・ソリューション事業においても法人向けの主力製品の売上が堅調に拡大しています。インバウンド・ソリューション事業も増収を達成しました。フィンテック事業も順調に売上を伸ばし、当期の売上高は前年同期比186.4%の成長を遂げました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

利益面においては、とりわけ子会社における専門性の高い付加価値サービスの提供や開発案件による原価構造の改善をはじめ、業務効率の改善、外注費や広告宣伝費等の適正な運用を継続して進めることで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を大きく上回る増益となりました。

資産・負債・純資産

増減要因

・資産の増加

主にプレミア証券株式会社を新たに連結対象としたことにより「現金及び預金」が減少したものの、「証券業における短期差入保証金」及び「証券業における信用取引資産」等の資産が計上されたこと、並びに「のれん」が計上されたことによるものです。

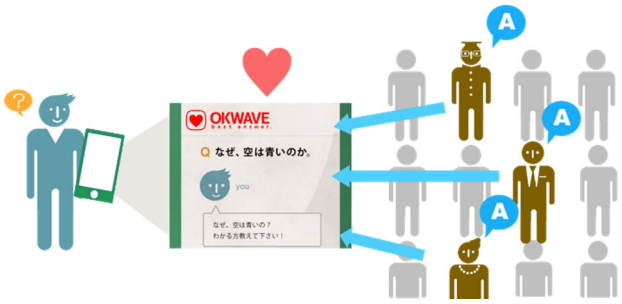
・負債の増加

主にプレミア証券株式会社を新たに連結対象としたことにより「 証券業における受入保証金」及び「証券業における信用取引負債」等の負債が計上されたことによるものです。

・純資産の部について

株主総会決議により、資本剰余金の一部を利益剰余金へ欠損補填のため振替えております。

コンシューマー・サービス事業



主なサービス

OKWAVE　OKWAVE Professional

THANKS ECONOMY 感謝経済　OKWAVE GRATICA

Question 数	約　830 万件
Answer 数	約 2,842 万件
ありがとう数	約 4,692 万件

(2018.9.30 時点)

・コンシューマー・サービス事業では、日本初、最大級の Q&A サイト「OKWAVE」、3,000 名以上の専門家が質問者に回答する「OKWAVE Professional」などのサービスを運営しております。
・感謝されている人を可視化し、賛同企業等からの優待が受けられる新たな経済圏「感謝経済」プラットフォームを構築しています。「感謝経済」プラットフォームに「OKWAVE」ならびに新サービス「OKWAVE GRATICA」が連動しています。
・海外子会社 OKfinc LTD.がブロックチェーン導入・運用コンサルテーションを提供し、当社はブロックチェーン運用のためのマーケティングサポートサービスを提供しています。
▷**「OKWAVE」サービス紹介動画：**　https://youtu.be/eafTN6hHEMY

コンシューマー・サービス事業

当期の活動と業績

「感謝経済」プラットフォーム本格稼働



「良いことをして感謝されている人が、社会の様々な場面で優待される」新しい経済圏「感謝経済」プラットフォームが本格稼働しました。19 社の企業が賛同し、感謝を集めているユーザーへの優待の提供や、社内外で感謝の気持ちを贈り合うことができる当社が本年 12 月に開始する新サービス「OKWAVE GRATICA」の利用検討を行っています。

仮想通貨ハードウェアウォレット取り扱い開始



仮想通貨ハードウェアウォレット「風神ウォレット」の取り扱いを開始しました。仮想通貨を安全に保管する方法のひとつとして、ハードウェアウォレットへの注目が高まっています。将来的な「感謝経済」プラットフォームでの仮想通貨の流通も視野に、日本 PC サービス株式会社との共同マーケティングを 10 月に開始しました。

単位：百万円

コンシューマー・サービス	前期	当期	増減額
売上高	65	169	104
セグメント利益	△ 57	41	98

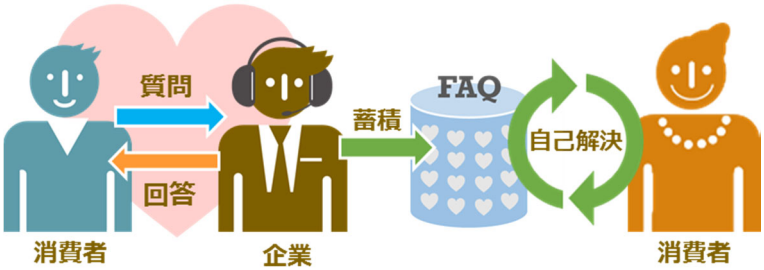
ブロックチェーン導入・運用コンサルテーションとマーケティングサポートのクライアント増加により、
大幅な増収増益を達成

コンシューマー・サービス事業の当四半期においては、前期にマレーシアに設立した子会社 OKfinc LTD.によるブロックチェーン導入・運用コンサルテーションの提供、ならびに当社が Q&A サイト「OKWAVE」の運営で培ってきたノウハウに基づく、マーケティングサポートのクライアント数が拡大し、売上高は前年同期比 259.2%、セグメント利益も大きく伸長しました。

エンタープライズ・ソリューション事業

主な製品

OKBIZ.



FAQ/お問い合わせ管理システム
国内売上シェア No.1
E サポートスペシャリストによる
安心・充実のサポート

・エンタープライズ・ソリューション事業では、企業へのお問い合わせの中から、よくある質問を管理・編集し、回答をインターネット上に公開することで、お問い合わせを減少させる企業向けソリューション「OKBIZ.」を提供しております。
・米国最大の業界団体 HDI（ヘルプデスク協会）公認の E サポートスペシャリストによるコンサルティングを行っております。
・特許技術を有する「OKBIZ.」を、国内銀行トップ 5 をはじめ、500 サイト以上にご利用いただいております。
・「OKBIZ.」ブランドとして、サポートコミュニティー構築サービス「OKBIZ. for Community Support」、Web チャットシステム「OKBIZ. for Chat & Bot」、AI エージェントサービス「OKBIZ. for AI Agent」などが加わっています。
▷**「OKBIZ.」製品紹介動画：** https://www.okwave.co.jp/business/

エンタープライズ・ソリューション事業

当期の活動と業績

「OKBIZ.」パートナーを全国に拡大



前期から引き続き、FAQ システム「OKBIZ.」の間接販売を担う販売パートナーの開拓を進めています。
当四半期には、地方行政における住民サービスへの ICT 活用への関心の高まりを背景に「OKBIZ.」の地方自治体向け特別パックの提供を開始しました。直販はもとより、各地の販売パートナーとの協力による導入を進めます。

FAQ を自動学習する AI エージェントを新発売



様々なお問い合わせに当社開発の AI「KONAN」を通じて自動応答する AI エージェントサービス「OKBIZ. for AI Agent」を発売しました。「OKBIZ.」との連携機能により FAQ を更新すれば AI が FAQ データを自律学習し、回答の精度を高められます。また昨今話題のスマートスピーカーからの音声利用にも API にて対応できます。

単位：百万円

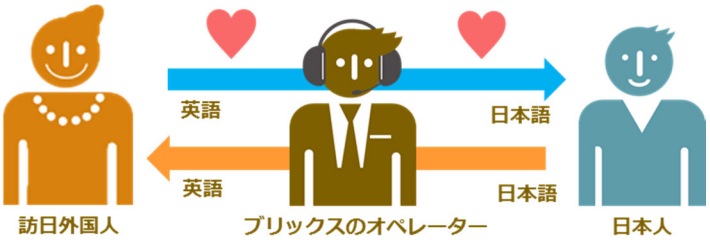
エンタープライズ・ソリューション	前期	当期	増減額
売上高	340	436	95
セグメント利益	190	217	27

導入サイト数の積み重ねにより
増収増益を達成

エンタープライズ・ソリューション事業のビジネスモデルは、FAQ システム「OKBIZ.」などの製品導入の際の初期構築費と月額利用料にて構成しています。これは「サブスクリプション（定期購読型ビジネス）」と呼ばれ、企業経営にとって安定性をもたらすビジネスモデルとして注目されています。当社は、解約を防止し月額収入を維持するための仕組みである「リテンションビジネス」体制を構築しています。
当四半期においては、新規受注が堅調に推移し、とくに今期の成長戦略であるパートナービジネスの拡大による間接販売の拡大により、売上高は前年同期比 128.1%、セグメント利益も 114.3%の事業成長を遂げています。

インバウンド・ソリューション事業

サービス提供企業
BRICKS.

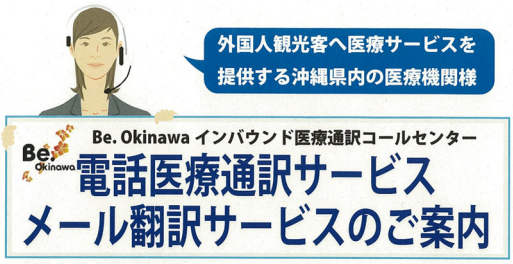


13 言語 24 時間 365 日 対応の 多言語コンタクトセンター

・インバウンド・ソリューション事業は、連結子会社の株式会社ブリックスにて運営している 24 時間 365 日体制の多言語コンタクトセンターです。
・民間企業、医療機関、官公庁などからの受託による電話通訳をはじめとする多言語対応とバイリンガルスタッフによる様々な請負業務を行っております。

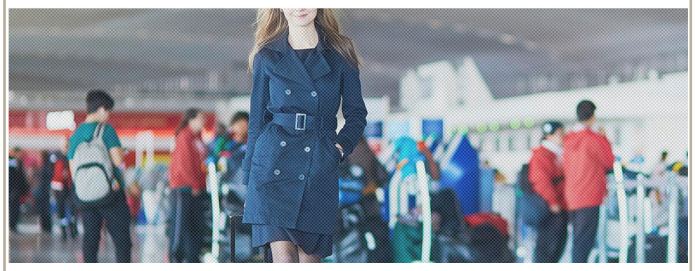
インバウンド・ソリューション事業
当期の活動と業績

沖縄県から医療電話通訳を受託



沖縄県からの委託にて、沖縄県を訪れる外国人観光客向けに、24 時間 365 日電話を通じて通訳対応ができる「Be.Okinawa インバウンド医療通訳コールセンター」を設置しました。外国人観光客の緊急医療に携わる県内の観光、医療機関、消防機関を対象に、6 言語の電話通訳サービスを提供しています。

東京入国管理局羽田空港支局から通訳業務を受託



訪日客東京入国管理局羽田空港支局における出入国審査等の通訳業務を受託しました。
外国人と入国審査官及び入国警備官との間の現場での通訳について、英語・中国語・韓国語の 3 言語にて通訳業務を提供しています。

単位：百万円

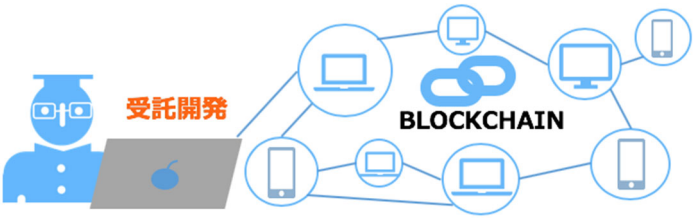
インバウンド・ソリューション	前期	当期	増減額
売上高	151	180	28
セグメント利益	35	48	13

訪日客の増加を背景に
増収増益を達成

当期におきましては、訪日外国人客の増加や東京五輪開催決定を追い風に、地方自治体や医療分野、鉄道などの案件が増加しております。これにより多言語コンタクトセンターの基幹サービスである電話通訳や、通訳業務委託の新規受注に至るなど、堅調に本業の成長が図られたことにより、売上高は前年同期比 118.9%、セグメント利益は 137.9%の増収増益を達成しました。

フィンテック事業

サービス提供企業
OKfinc OK BLOCKCHAIN CENTRE



ブロックチェーンの開発受託

・マレーシアの子会社 OKfinc LTD.と孫会社 OK BLOCKCHAIN CENTRE SDN.BHD.にて、ブロックチェーン技術を用いた受託開発を請け負います。企業や団体のブロックチェーン導入に関する経営戦略立案から設計、システム構築までをワンストップで実施します。

フィンテック事業
当期の活動と業績

マレーシア工科大学と提携



孫会社 OK BLOCKCHAIN CENTRE がマレーシア工科大学（Universiti Teknologi Malaysia/ UTM）とブロックチェーンの共同研究に関する提携を締結しました。共同研究の第一弾として、イスラム法「シャリーア」（Syariah）に関するプロジェクトを開始します。また、UTM の卒業生の同社への受け入れなども行っております。

ACU ブロックチェーンアドバイザーに就任



当社代表の松田元が ACU（アメリカ保守連合）関連団体のブロックチェーンアドバイザーに就任しました。アジア地域において、保守政治家の議会での投票行動や政策提言などの保守の理念に沿った政策実現への貢献度合いを格付けする取り組みにブロックチェーンを活用する取り組みに、松田がアドバイザーとして助言・支援します。

単位：百万円

フィンテック	前期	当期	増減額
売上高	―	253	253
セグメント利益	―	208	208

大型開発受託案件により
売上、利益が拡大

前期第４四半期から新規事業として開始したフィンテック事業では、企業・団体からの受託により、子会社 OKfinc LTD.がブロックチェーンの戦略的設計を行い、孫会社 OK BLOCKCHAIN CENTRE SDN. BHD.がシステムの開発を行っております。

当期においては、ブロックチェーン・ベースのシステム開発案件を継続的に受託し売上、利益を拡大することができました。大規模な受託開発が可能なブロックチェーン開発会社や技術者は世界的にも多くはなく、利益率の高い収益を計上することができています。

第 20 期通期予想

単位：百万円

第20期予想	通期予想	第19期実績	前期比
売上高	**5,500**	3,786	145.2%
営業利益	**1,500**	1,216	123.3%
経常利益	**1,500**	1,194	125.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,400**	1,071	130.6%

＊ 第 20 期戦略

当社は「互い助け合いの場の創造を通して、物心両面の幸福を実現し、世界の発展に寄与する」ことを企業理念に掲げています。この理念に沿って、後述のコアとなる「ABC テクノロジー」（AI、Blockchain、Cyber Security の頭文字を取った呼称）の活用ならびにサイバーセキュリティを重視しながら、互い助け合いを実現するプラットフォーム型サービスの開発・提供を進めていきます。

第 20 期は、創業者である兼元謙任が代表取締役会長に、取締役を務めた松田元が代表取締役社長に就任し、代表者 2 名体制にて当社グループの経営と事業を推進してまいります。

前期第 4 四半期から事業セグメントを 4 つに分けましたが、今期より現在の組織実体に合わせて、セグメント名称と該当製品サービスの組分けを行いました。

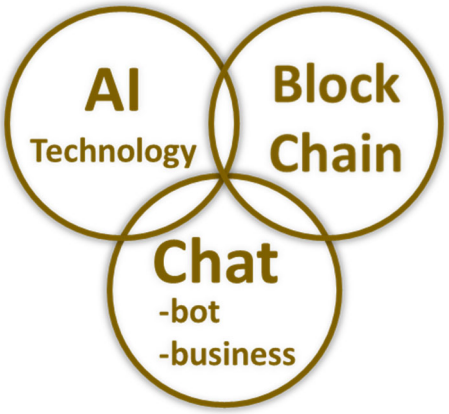
第 20 期は、第 19 期に成長を遂げたブロックチェーン導入・運用コンサルテーションや、ブロックチェーン技術開発を主軸とするフィンテック事業を業態拡大の成長ドライバーとして注力してまいります。

また、コンシューマー・サービス事業での「感謝経済」プラットフォームの構築においては、当社の理念を体現するサービスとして事業間の枠組みを超えて当社グループ全社の知見を結集し、より多く感謝されている人々の可視化と彼らが優待されるような経済圏の創出とそのための機能開発、ならびに「感謝経済」プラットフォームに参画いただく企業への各種ソリューションの提供を行います。既存のサービスと新規サービスを組み合わせて、国内外にて推進してまいります。

＊ 第 20 期の事業セグメント名称と該当する製品サービス

事業セグメント名称	該当製品サービス
コンシューマー・サービス事業	「OKWAVE」、「OKWAVE Professional」、「感謝経済」プラットフォーム、 「OKWAVE GRATICA」、ブロックチェーン導入・運用コンサルティング　など
エンタープライズ・ソリューション事業	「OKBIZ. for FAQ / Helpdesk Support」（「OKBIZ.」）、 「OKBIZ. for Chat & Bot」、「OKBIZ. for AI Agent」　など
インバウンド・ソリューション事業	多言語コンタクトセンター（電話通訳）、通訳派遣、翻訳　など
フィンテック事業	ブロックチェーン技術を用いたシステム開発

＊ 重視するテクノロジー



AI Technology　人工知能技術　コードネーム「KONAN」

AI Technology とは、コンピュータを使って、学習、推論、判断など、人間の知能のはたらきを人工的に実現する技術です。当社は 2014 年より、AI（人工知能）「KONAN」の研究開発に力を注いでいます。第 18 期以降「KONAN」を土台に、AI エージェント「あい」や企業向けの「OKBIZ. for AI Agent」などのチャット技術とインターフェースを組み合わせた対話型 AI サービスの提供を開始。当期も引き続き、コアとなる「KONAN」の強化と AI 関連サービスの開発・提供を進めてまいります。

Blockchain　ブロックチェーン技術　コードネーム「YEBISU」

ブロックチェーンとは、従来の中央集権型のデータ管理とは違い、複数の箇所にデータを置く分散型のネットワークで、安価で堅牢かつ保守性の高さを実現した技術です。マレーシア・ジョホールにブロックチェーン開発を専業とする孫会社 OK BLOCKCHAIN CENTRE SDN. BHD.を設立し、ブロックチェーンを応用した様々な受託開発にあたるほか、当社が推進する「感謝経済」プラットフォームのブロックチェーン化を進めます。また、認証（マイニング）にかかる時間とコストの問題を解決するオリジナルブロックチェーンプラットフォーム『Thor's Hammer（トゥールハンマー）』の開発を開始しました。

Thor's Hammer
OKWAVE Blockchain

Cyber Security　情報セキュリティ技術　コードネーム「DANANG」

インターネットの発展と同時に欠かせないのがセキュリティ対策です。

当社は情報セキュリティに関する国際規格 ISO27001 を早期から取得・維持し、当社運営サービスや提供システムのセキュリティ対策や有事の際の対応を行う社内組織 CSIRT の設立などを行ってきました。

当社は、ビッグデータ解析による不正取引検知分野で急成長を遂げている米国企業、パランティア社（Palantir Technologies Inc.）への株式取得を予定していますが、同社の製品を通じて高度な情報セキュリティ技術を取得し、ブロックチェーンとともに自社製品サービスのセキュリティをさらに高めると共に、外部へのセキュリティ製品の販売も手がけていく考えです。

*第 20 期第 2 四半期以降のトピック（平成 30 年 10 月以降のプレスリリースより抜粋）

・AI を活用した「FAQ 自動作成システム」の開発へ
・Q&A サイト「OKWAVE」を全世界に向け多言語展開開始（103 言語に対応）
・Q&A サイト「OKWAVE」次世代バージョンの開発を開始
・ビッグデータ分析における急成長企業、米国・パランティア社（Palantir Technologies Inc.）と資本・業務提携、同社製品の独占販売権を得て、情報セキュリティ市場へ参入
・子会社 OKGAIA、不動産に関する専門家相談サービス「OKGAIA」をオープン
・子会社 OKfinc と孫会社 OK BLOCKCHAIN CENTRE がブロックチェーン導入の戦略設計とシステム開発を新規受託
・創業 20 周年を機にロゴマークデザインを刷新
・当社が卸販売する「風神ウォレット」を日本 PC サービスにて国内独占販売開始

本資料に掲載しております数値、画面キャプチャ、画像等は特別な断りがない限りすべて 2018 年 9 月時点のものです。
本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。